



広報

No. 312

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成9年12月末現在)

世帯数	10,202世帯
人口	30,993人
男	15,748人
女	15,245人
出生	35件
転入	100件
婚姻	20件
12月の人口移動	
死亡	10件
転出	89件
離婚	6件

編集・発行/ 西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/ 沖縄コロニー印刷



△20歳の記念に思い思いのポーズで

今月の主な内容

- 平成10年西原町成人式 (1、2頁)
- 平成9年度西原町海外移住者子弟研修生 修了式・謝恩会 (3頁)
- ガイドヘルパー養成講座 (8頁)
- 町史だよりNo.29 (9頁)
～またまた壕発見～ 棚原
- お知らせで一びる (10～12頁)

成人おめでとう！今年の新成人は695名

—— 平成10年西原町成人式 ——

平成10年町成人式が、1月15日成人の日、町民体育館で開催されました。

町内の今回の成人該当者は、昭和52年(1977年)4月2日から昭和53年(1978年)4月1日までに生まれた男性412名、女性283名の計695名。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

として保存すると便利です

今年の新成人は六九五名

平成十年 西原町成人式

式典では、島田賢松教育長による開式のことばの後、各行政区の成人者氏名紹介が行われました。

主催者あいさつをした城間一町教育委員長は、「心身を磨き、優秀な若人として世界に限りなく伸びて行かれることを心から願っています。」

二十一世紀の平和で豊かな社会の主役として、また、わが「文教のまち西原」の担い手として期待しています」と式辞を述べ、新成人らを激励しました。



△久しぶりに顔をあわせた友人たちと、写真を撮りあう姿が会場内のあちこちでみられた(1/15、町民体育館)

また、翁長正貞町長は「新成人のみなさんには、今日の

日を境に、独立した成人として貴重な権利と義務を与えられ、地域社会や国の発展のために貢献いただくことが期待されています。限らない夢と可能性を秘めた『若さ』を存分に発揮され、国際社会を舞台に、二十一世紀の日本、沖縄県、文教のまち西原町を作り上げる担い手として大いに活躍されることを期待しています」

富春治町議会議長は「これからの人生に誇りと責任を持つて、心身を磨き、常に将来への希望をもって自己完成への道を邁進され、若人として世界に限りなく伸びて行かれますよう願っています」と、それぞれ新成人への期待を込め、祝辞を述べました。

引き続き、城間町教育委員長から新成人の代表者に記念品が贈呈されました。

新成人を代表して諸見里和



△新成人たちを代表して『成人の決意』を述べた諸見里和也君(左)と比嘉美奈子さん(右)



20歳になったら国民年金へ加入を！

国民年金とは

老齢・障害・死亡等に関する必要な給付を行う制度で、20歳から60歳未満のすべての人が加入することになっています。

国民年金に加入する人は、次の3種類に区別されます。

1. **第1号被保険者**→自営業、農業、漁業、自由業、学生、厚生年金に加入していない人(※60歳以上70歳未満の人で受給資格期間を満たしていない人、在外国邦人も希望すれば加入できます)
2. **第2号被保険者**→厚生年金、共済年金に加入している人
3. **第3号被保険者**→厚生年金、共済年金に加入している人の被扶養配偶者

加入するには次のものが必要です。

- ① 印鑑
- ② 年金手帳(加入したことがある場合)
- ③ その他

問い合わせ：国民健康保険課 国民年金係
☎ 945-4791 (内153)

也君と比嘉美奈子さんが「これまでの親鳥の羽に抱かれたヒナ鳥にも似た日々から、今日を境に、一人の公民として、

社会の一員として、独立した社会生活を営むことになりました。尊い人生経験をされている諸先輩の指導を心の支えに、悔いのない人生を歩みたいと思っています」と、力強く『成人の決意』を宣言しました。

式典後には、城間教育委員長らも交えて、新成人たちの記念撮影が行われました。撮影後も新成人らは、久しぶりに顔を合わせた友人たちとお互いに写真を取り合ったり、談笑したりと二十歳の喜びを分かちあっていました。

「成人式ひとくちメモ」

▼総務庁が一月十四日付で発表した推計人口によると、「成人の日」の十五日現在、二十歳に達する新成人は、全国で百七十四万人(男性八十九万人、女性八十五万人)。総人口(一億二千六百十四万人)に占める割合は一、四%。一九七一年から一九七四年の第二次ベビーブーム期を境に始まった少子化時代の世代にあたり、最近のピークだった一九九四年の二百六万人と比べ、四年間で三十二万人も減少したことになります。県内の新成人は二万三千一百一十一人(男性一万三百六十人、女性九千九百五十一人。県生活福祉部調べ)で、昨年より五百三十五人減っており、三年連続の減少となっています。

▼新成人たちのほとんどが生まれた一九七七年(昭和五十二年)は、国立大学共通一次試験のための大学入試センターが発足。国民栄誉賞第一号に七五六本塁打を達成したプロ野球読売巨人軍の王貞治選手(当時)が輝きました。また、北海道の有珠山が噴火、自然の脅威を示しました。当時の一人あたりの国民所得は百三十三万円で現在の四割強。円は一ドルが二百四十円でした。

▼成人の日は、「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」趣旨で定められた国民の祝日で、昭和二十三年(一九四八年)に制定され、沖縄では四年後の昭和二十七年(一九五二年)から実施されました。



△中山ビビアナ・シルダさん（アルゼンチン）と小橋川ファン君（ペルー）に対して、修了証が交付された（12/19、西原共同福祉施設）

西原町のみなさん、貴重な体験をありがとう

平成九年度町海外移住者子弟研修生修了式・謝恩会

平成九年度町海外移住者子弟研修生の中山ビビアナ・シルダさん（アルゼンチン）と小橋川ファン君（ペルー）の修了式と謝恩会が、十二月十九日午後、西原共同福祉施設二階ホールで行われました。

式には、翁長正貞町長をはじめ、町や議会、研修生の親類ら関係者約五十人が参加して、研修生の労をねぎらい、帰国後の期待を込めて激励しました。

中山さんは那覇市在の広告会社エスピープロダクトで宣伝広告を、町役場文化広報課でパソコンの操作などを学び、

小橋川君は小那覇在の（株）プリマで貿易やマーケティングを学びました。また、二人とも日本語や日本文化などを、

沖縄キリスト教短期大学生ら

を講師に、町中央公民館で学んできました。

修了式では、翁長町長から

研修生二人に修了証書が交付

され、研修機関として協力を

頂いた企業の代表者や日本語講師、身元引受人らに対しては、感謝状が贈呈されました。

修了証書を交付後あいさつ

した翁長町長は「研修の成果

を生かして、将来は沖縄県・西原町と南米との懸け橋となつて下さい」と述べ、研修生を励ました。

引き続き、富春治町議会議長激励のあいさつや、研修機関の（株）プリマの比嘉勝秀社長、身元引受人の新崎盛徳さんがあいさつしました。

研修生の中山さんは「（アルゼンチンから）来た当初は不安だったが、どこでも親切にしてもらい、イチチャリバチョーデー（出会えば、皆、兄弟）」の意味が実感できま

した。帰国後も、研修で学んだ知識を生かし頑張りたい。三線、琉球舞踊、そして日本語の勉強もずっと続けていきたい」、小橋川君は「沖縄での生活様式や仕事の仕方といった行動様式のほか、日本・沖縄人の考え方や（自分自身が）日本語で思考するなど、ペルーではできない貴重な体験ができました。帰国後も日本語の勉強はずっと続けて、将来は貿易関係仕事に生かしたい」と、それぞれ研修修了の感想と今後の抱負を述べました。

しました。

『青少年ふれあいの旅』で結団式

流が始まりました。

結団式では、団長の翁長正貞町長や三十六人の団員が初めて顔を合わせ、現地や日程などのオリエンテーションを受けました。

また、西原東中学校二年の袴タケル君が生徒を代表して「体験学習を通して、互いの歴史と文化を学び、未来を創造できる心豊かなたくましい人間になりたい」と決意表明

しました。今回は、本町から都留市へ、十二月二十六日から二十九日まで三泊四日の日程で訪問し、リニア・モーター・カーの実験見学センターを訪れたり、現地の児童らとソフトバレーボールなどの軽スポーツで交流したり、スキーを体験しました。また、最終日には、隣接する東京都の浅草や国会議事堂などを見学しました。都内見学では、電車に乗るのは初めてという児童もいて、貴重な体験をしたようでした。

町民が集い、町の発展を誓う

平成十年 町民新春の集い

町・町商工会・町事務担任者会・町老人クラブ連合会の共催による「町民新春の集い」が、一月五日午後、町中央公民館で開かれました。

集いには町内外から町民や関係者ら約八百人が参加し、新年の喜びを語りあう参加者たちの和やかな交歓風景が見られました。

同集いは、玉寄徹二町事務担任者会会長の開会あいさつ

後、翁長正貞町長は「去年は、世界、日本、沖縄の各レベル



△威勢よく酒樽の鏡開きが行われた(1/5、町中央公民館。「平成10年。町民新春の集い」)

において、経済、政治のほか多方面で、文字通り激動の年でありました。今年も、財政面を始め諸般にわたり厳しい情勢が続くと予想されますが、「文教のまち西原」づくりに向け、引き続き町民のご理解とご協力をいただきたい」とあいさつしました。また、新垣常夫町議会副議長、呉屋定子町商工会会長らが新年への期待を込め、年頭のあいさつを述べました。

引き続き、翁長町長をはじめ共催団体代表らによる酒樽の鏡開きが威勢よく行われ、宮平吉太郎町社会福祉協議会会長による乾杯の音頭後、会場の人々にふるまわれました。さらに、町文化協会(古典音楽部会、琉球箏部会、太鼓

部会、琉球舞踊部会、日本舞踊部会)や町老人クラブ連合会、町婦人連合会、更生保護

婦人会らによる余興も多数披露され、希望に満ちた新年を祝いました。

敬愛園(老人保健施設)を訪問し交流

坂田小学校中国語クラブ

坂田小学校中国語クラブと中琉文化協会婦人部(張本ユリ子会長)は、一月十四日午後、町内の老人保健施設・敬愛園を訪問し、公演を行いました。

同校中国語クラブは、四年生から六年生までの児童三十人で構成、同校PTA副会長の川木アリスさんが指導しています。今回の公演は、指導の川木さんが、学校のクラブ活動だけでなく、実際の生活の中で中国語を使わせたいと立案・企画し、自身も所属する中琉文化協会の婦人部へ持ちかけ、同会も快く引き受けたことから実現したものです。

中国語クラブを代表して四年生の宮里優美さんが「皆さん、いつまでも健康で長生きしてください」と、中国語であいさつをしました。引き続き、同クラブの児童たちから園のお年寄りに、手作りの中国式年賀状がプレゼントされました。

また、中琉文化協会婦人部のメンバーは、あでやかな民族衣装に身をつつんで、舞踊や歌などを披露しました。

さらに、西原町商工会が「さわふじ(サガリバナ)」による町おこしをと、一般公募して作成した「さわふじ音頭」を歌う歌手の林美伶さんも参加、同音頭や芭蕉布などを歌いました。

老人保健施設への慰問公演は、昨年十二月に池田苑を訪問してお年寄りらと交流したのに続いて二回目。



△町特別職の報酬等について審議する委員のみなさん(1/9、町役場2F大会議室)

多い?少ない?

特別職の報酬を審議

西原町特別職報酬等審議会

西原町特別職報酬等審議会が、一月九日午後、町役場二階会議室で開催され、翁長正貞町長から同審議会委員への委嘱状の交付と審議が行われました。

同審議会は、平成九年四月一日条例第八号の『西原町特別職報酬等審議会』により設置されたもので、六名の構成委員は、町内の各種公的団体の代表者やその他住民の中から、必要に応じて町長が委嘱しています。

同条例では、町長が、町議会議員の報酬額や町長、助役、収入役等の給料の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、前もって同審議会へ諮問し、その意見を聞くことになっています。委員の任期は、諮問の審議が終了した時点です。

委員の互選により、会長に琉球大学教授・大城常夫氏、会長指名により元沖縄キリスト教短期大学長・大城実氏が副会長になりました。

今後、答申内容は、町財政等を考慮に入れて検討を重ね、答申しました。

委員の互選により、会長に琉球大学教授・大城常夫氏、会長指名により元沖縄キリスト教短期大学長・大城実氏が副会長になりました。委員の任期は、諮問の審議が終了した時点です。

今後、答申内容は、町財政等を考慮に入れて検討を重ね、答申しました。

町人づくり支援の会が、絵画・書道チャリティー展示即売会を開催

西原町人づくり支援の会(大城進一会長)は、十二月十一日から十四日までの四日間、町中央公民館ホールで、「大城久美子(絵画)・新川善一郎(書道)チャリティー展示即売会」を開催しました。

同展示即売会は、本町翁長にある沖縄キリスト教短期大学の四年制大学設置へ向けての資金支援を目的として、同支援の会が開いたもの。

同支援の会は、「文教のまち西原」に寄与できる才能と意欲ある者を支援しようと、沖縄キリスト教短期大学の元学長・大城実氏や同大学教員・新川右好氏らが、町内在住の各種団体長(元・現)に呼びかけ、昨年九月十三日に結成しました。会員は一般・賛助・法人に分けられ、それぞれ本

町人づくり支援の会(大城進一会長)は、十二月十一日から十四日までの四日間、町中央公民館ホールで、「大城久美子(絵画)・新川善一郎(書道)チャリティー展示即売会」を開催しました。

町居住者か関わりのある者、趣旨に賛同する法人格を有する会社組織体というように、「文教のまち西原」にこだわることとなり、行政が関与しない民間レベルでの人材育成のための組織は県内初。同支援の会では、社会・経済・行政・文化・芸術・スポーツなどあらゆる分野の人材育成に協力するため、今後、各種チャリティーの開催や募金活動の実施、人材育成に関わる事業への人的・経済的支援、人材バンクの設置・活用などを予定しています。

なお、同支援の会についての問い合わせなどは、同事務局(九四五・六七三)・新川右好、与那城三百十五番地)まで。

長)▽平良正一(サンライズ農業共同組合西原支店長)▽呉屋定子(西原町商工会会長)▽川満ヤス子(西原町婦人連合会会長)▽下地洋子(海星学園園長)





△「一筆入魂」の心がまえで、書にのぞむ
(1/4、町民体育館)

新春の思いを墨と筆に込め

—平成10年町新春書き初め会—

町教育委員会と町文化協会書道部は、1月4日午前、町民体育館で、平成10年町新春書き初め会を開催しました。

幼児から成人まで約50人が参加、児童・生徒らは学校の習字の宿題を、幼児や成人は思い思いに、それぞれ気持ちも新たに書き初めました。

参加者は、手本書を前に、書道部会の先生たちが実演も交えて行う字のハネやトメなどのアドバイスを熱心に聞き入りながら、一筆一筆、真剣な表情で取り組んでいました。また、イメージ通りの出来栄となった作品を前に笑顔の参加者もいました。



▷町内外からソフトボール愛好家ら22チーム209人が参加した「第7回24時間ソフトボール大会」。(H9.12/31～H10.1/1、西原中学校運動場)



年の瀬に 隣は何をする人ぞ

—第7回24時間ソフトボール大会—

町内のソフトボール愛好家たちが、1年間の活動を振り返り、親睦を深めながら新年の飛躍を誓おうと、12月31日正午から1月1日正午まで、西原中学校運動場で、「第7回24時間ソフトボール大会」を開催しました。

大会には町内外から22チーム209人(延人数だと約2400人)が参加し、紅白に分かれて熱戦を繰り広げました。冷え込んだ深夜から未明にかけては、ベンチ横に焚(た)き火をたき、温かい沖縄そばとカレーライスで暖を取りながらの試合となりましたが、参加者全員が元気に新年を迎えました。

試合結果は、130回の裏、150対128で、終始リードを保った紅チームが、前回大会に続いて勝利しました。

【ホームラン賞】今大会1号—當山直弘、2号—宮平光也、3号—中山照雄



△西原町・浦添市・知念村の心身障害者達とその関係者らが、クリスマスと忘年会をさまたまなゲームや踊りで楽しんだ。
(H9.12/5、町中央公民館ホール、「町クリスマス」望年會)から。

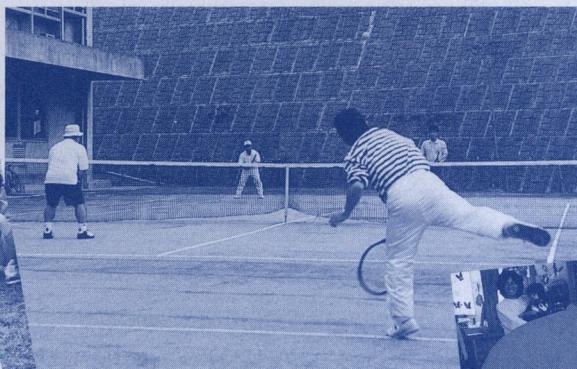


△「団結・発展で母子寡婦の幸せづくりを！」を大会スローガンに開催された第28回沖縄県母子寡婦福祉大会で、西原町母子寡婦福祉会(阪本登代子会長)が、優良母子寡婦福祉会として表彰された。(H9.11/30、名護市民会館)

トナツ
マナツ



△西原保育所・坂田保育所の園児たちと町老人クラブ連合会のみなさんがもちつきで楽しく交流(H10.1/9、町社会福祉センター前広場)



△町内のテニス愛好家たちも、年末年始のテニスを楽しんだ。「今回が初めての取り組み。町外からでもテニス好きなら誰でも参加OK」とのこと。
(H9.12/31～H10.1/1、町中央公民館テニスコート)



△「ホントにサンタさんっていたんだー」
(H9.12/、西原東児童館。「クリスマス会」から)

兼久自治会が新春ウォーキング・マラソン大会を開催



△児童から60代までが参加した兼久自治会の新春ウォーキング・マラソン大会(1/4、兼久公民館)

兼久自治会(玉井正幸^{たまいまさゆき}会長)では、「スポーツを通して住民の健康づくりと相互交流を深め、自治会活動の活性化を図ろう」と、1月4日午前、兼久公民館をスタート・ゴールに、『平成10年兼久新春ウォーキング・マラソン大会』を開催しました。

同自治会は、平成9年町陸上競技大会で、自治会史上初めて男女総合優勝をするなど、スポーツを通して会活動が盛んです。今回は、2コースを予定していましたが、雨のため、参加者の安全等を考慮(こうりょ)して当初予定の2コースを変更、3.5キロコースのみとなりました。

大会には、児童から60代まで50人が参加、「参加するあなたが主役です」の大会スローガン通り、それぞれマイペースで歩いたり走ったり、新春の風を満喫しました。

また、大会後には懇親会も開かれ、大会参加者全員に、沖縄そばとお年玉が配られるなど、和気あいあいとした雰囲気の中、親睦を深めていました。

まちの話題

「いつでも、どこでも、だれでも気軽に参加できる」恒例の新春トリムマラソンが、1月11日午前、町民陸上競技場をスタート・ゴールとする3キロメートルと5キロメートルの2コースに、町内外から115人が参加して行われました。

今回で13回目を迎え、すっかり新春の行事として定着した感のある同マラソンの参加者たちは、自己申告タイムを目指す人、ゆっくり風景を楽しみながら歩く(?)人、親子でいろいろな話をしながらと、それぞれが思い思いに、心地よい汗をかきながら新春の風を楽しみました。

なお、結果は次の通り(3位まで。敬称略)。

【3kmコース】第1位・下野正寛(小那覇、誤差2秒)
第2位・宮平綾子(池田、誤差10秒)
第3位・佐久川廣子

(浦添市前田、誤差11秒)

【5kmコース】第1位・生田義史(兼久、誤差6秒)
第2位・川満啓一(呉屋、誤差11秒)
第3位・漢那宗宏(兼久、誤差15秒)

新風を胸一杯に吸い込んで

ー平成10年新春トリムマラソンー



△「いつでも、どこでも、だれでも気軽に参加できる」新春トリムマラソンで、いっせいにかけだす参加者たち(1/11、西原運動公園)

琉球舞踊って、「デージ、ジョウトー」

ー西原小学校で琉球舞踊鑑賞会ー



△琉球舞踊の持つ優美さや力強さなどにふれた琉球舞踊鑑賞会(12/11、西原小学校体育館)

町教育委員会は、12月11日午後、西原小学校体育館で、同校の3年生以上を対象に、琉球舞踊鑑賞会を開催しました。

これは、故郷＝沖縄の伝統である琉球舞踊の鑑賞を通して町内の児童生徒に豊かな情操を育んでもらおうと、町文化協会(屋良朝光会長)の協力を得て、「はぐくもう 西原の心」をテーマに、毎年、各町立小・中学校で開催しているもの。

「かぎやで風」や「かせかけ」、^{たんちやめー}「谷茶前」、^{ぬちばな}「貫花」など、「古典舞踊」や「雑踊り」といったいろいろな分野の代表的な6演目が上演されました。演目の合間には、屋良会長から踊りや歌の意味、服装や楽器など、沖縄の芸能について、沖縄の歴史にも触れながらやさしく解説しました。

鑑賞した児童らは、琉球舞踊の持つ優美さや力強さ、それを支える三線や太鼓などの地謡とが織り成す世界にすっかり魅了され、わった一島・沖縄の芸能の素晴らしさを堪能(たんのう)しました。

2月27日(金) 電話加入権の公売

(14:00~14:30-受付、印鑑(認印)を持参のこと。町役場2階大会議室 関 税務課 ☎945-4729)

視覚障害者を手助けする ガイドヘルパーを養成

視覚障害者の公的機関などへの外出を手助けする「ガイドヘルパー」の養成講座が、十二月十七日午後、町社会福祉センターで開催されました。同講座には、町内の主婦五人が参加、ガイドヘルパーとしての心得や手引き歩行の仕方などを学びました。

ガイドヘルパーは、平成九年五月現在で町内にいる三十九人の視覚障害者が、町役場や医療機関を始めとする公的機関に行く場合や社会参加促進の点から必要と認められる場合に派遣され、視覚障害者の歩行を誘導するなどの手助けをします。現在同制度は、県内で那覇市など十市に加え、佐敷、東風平、読谷、伊江、具志頭の五町村が実施しています。

ます。

この日は、県視覚障害者福祉協会の上当英昭さんが視覚障害者に関する基礎知識や取り巻く現状、失明に至った時の心理状態などの説明がありました。その後、歩行訓練士の当真初子さんが階段や人ごみでの手引き歩行の仕方を指導、講座受講者たちも実際に手引き歩行などを行い、当真さんのアドバイスを真剣な表情で聞いていました。

本町では町社会福祉協議会へ委託し、本格的にガイドヘルパーとしての活動を予定しています。

なお、ガイドヘルパーについての問い合わせなどは、町社会福祉協議会 ☎ 九四五一三六五一 または町役場福祉課 ☎ 九四五一五三一 まで。



△実際にアイマスクをつけた人の歩行を誘導し、手引き歩行の仕方を学んだ(12/17、町社会福祉センター。「ガイドヘルパー養成講座」から)

防火防災 決意も新たに —— 東部消防本部出初め式 ——

西原町、与那原町、南風原町、佐敷町で構成する東部消防本部(大城

吉雄消防長)

の平成十年出

初め式が、一

月八日午後、

同本部で行わ

れ、消防職団

員、南風原町

婦人消防隊、

佐敷町立第二

保育所の幼年

消防クラブの

メンバーらが

参加、年頭に

あたって防火

への決意を新

たにしました。

式では、正・副管理者(構成四町の長)、大城消防長ら



△消防団員らが、きびきびした動作で火災訓練を行なった(1/8、東部消防本部)。

が、消防職団員の特別点検、

消防車両などの点検、優良職

団員らの同本部・県消防協会

表彰をしました。また、婦人

らによる消火器を使つての消

火実技、幼年消防クラブの幼

児らによる太鼓演奏、南風原

町婦人消防隊による小型ポン

プ車を使つての消火訓練が披

露されました。

続いて、建物の二階で火災

が発生、けが人が出たとの想

定で訓練が行われ、団員らが

機敏な動作で救出、消火活動

に当たり、式典参加者たちか

ら喝采が送られました。

同本部のまとめによると、

管内では、昨年六十四件の火

災が発生し、損害額は二千七

百七十万円余に上っています。

また、救急出動件数は一千五

百二十六件で、過去五年間で

は最も少なくなっています。

なお、優良職団員として表

彰された消防職団員らは次の

通り(本町関係者、敬称略)。

【東部消防組合表彰】

《十年以上勤続》▽大城幸雄

▽呉屋邦広▽新垣勝《二十

年以上勤続》▽呉屋敏浩▽玉

那覇洋

【沖縄県消防協会表彰】

《優良職団員章》《消防士

▽照屋力▽山内昌国(団

員)▽比嘉哲也▽中村孝▽

新垣政孝▽伊集哲

2月28日(土) 第5回カラオケ・もちつき大会

(13:00-町社会福祉センター前広場→もちつき大会 14:00-町社会福祉センター内大広間→カラオケ大会 町社会福祉協議会 ☎ 945-3651)



△右側に横穴（奥行き0.8mで行き止まり）があり、奥へいくにしたがい上っている

町史だより
— No.29 —

またまた壕発見 棚原の区画整理地内

去年末に、棚原の区画整理地内の工事現場で、沖繩戦当時の壕が発見されました。

新聞にも掲載されていたので、町民のみなさんもすでに御存知かと思われます。

町史係では、これまで戦跡考古学という立場から戦跡壕調査を行ってきました。今回発見された壕についても、これまで同様の調査を行いました。そのもようを少し説明いたします。

まず、壕内のようなすを観察しながら写真に記録していき

ます。壕の長さは約三〇メー

トルで、入口付近から二〇メートル奥あたりまで落盤防止のための柱跡が確認されました。

あたりには木片も散在しています。さらに、横穴が設けられ、奥の残り一〇メートル部分は狭く、奥にいくにしたがつて上がっていくようにつくり

になっています。また、灯りを置いたと見られる小さな穴は、黒い煤がこびりついてい

ます。いちばん奥の壁には、つるはしの跡が鮮明に残されて

いました。

次の作業は、実際に壕内を測っていきます。二メートル間隔に基準点をもうけ、高さや幅を測量します。

さらに壕内の埋もれた部分の土を取り除き、遺物を確認していきます。この作業は入

口から五メートルまでは重機でさらいましたが、その後はスコップを持つての手作業と

なりました。途中、スコップが金属片にあたり、拾い上げ

てみると手榴弾だった、など

ということもありました。

遺物としては、手榴弾や小銃弾、薬液の入ったアンブル

や水銀体温計、缶詰、ビール瓶（ダイニッポンビールの刻

名あり）、しよく台などがありました。

測量と遺物確認の作業は、きつい仕事です。なんととい

ても狭く暗い壕の中では空気も薄いうえ、湿気が多く、息

苦しくなってくるのです。でも沖繩戦当時、この壕の中で

過ごした人々のことを考えると、そんな甘いこともいつて

られません。

これらの作業とともに、壕についての情報を集めます。測量と遺物収集で得た情報のほか、聞き取り調査を行った

者は再び前線へ、傷の深い者は病院壕（現キリスト教短期大学のある丘）へ送られたということでした。そのことは

町史にも記載されています。しかし、医務室はもっと大き

かったという話や、医務室近くに負傷兵を担送する防衛隊

の人々が衛生兵とともに避難していた壕があったという話

もあります。遺物をみても、医務室なのか、衛生兵のいた

壕なのか特定できません。また、上原／棚原の稜線は

旧日本軍の防衛線となっていたため、いたるところ陣地壕

だらけだったし、さらに現在は区画整理のため、もとの地

形がわからなくなっていることも、壕の断定を困難に

しています。

今回の調査で強く感じたことがあります。

なれば、沖繩戦の証言もその風化の速度を速めることでしょう。

改めて『西原町史』第3巻・資料編2「西原の戦時記録」を読みかえし、激戦地・西原

を物語る壕の存在の重要性を感じたのでした。

追記：今回も、区画整理課職員、丸政土建や南城技術開発

伊波精吉さん、新垣光子さん、喜屋武久真さんら多くのみな

さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。

寄付・香典返し
(ありがとうございました)

▽町商工会（呉屋定子会長）が、チャリティーグラウン

ドゴルフ大会の収益金として、町社会福祉協議会へ二十

十万円。▽北中城村仲順二百六番地、「丘の一本松会」

（代表者・太田よし子）が、町社会福祉協議会内はばた

平成10年度 町民税・県民税の申告について

◎申告の受付期間 2月16日(月)～3月16日(月)

午前9時から12時、午後1時から5時まで(土、日、祝祭日を除く)

◎受付場所

受付年月日	場 所	指 定 行 政 区
平成10年 2月16日(月)	午前9:30～10:30	幸地高層自治会事務所 幸地ハイツ・幸地高層住宅
	午前11:00～12:00	坂田高層自治会事務所 坂田高層住宅
	午後1:30～4:30	幸 地 公 民 館 幸地
平成10年 2月17日(火)	午前9:30～10:30	徳 佐 田 公 民 館 徳佐田
	午前11:00～12:00	森 川 公 民 館 森川・千原
	午後1:30～4:30	上 原 公 民 館 上原
平成10年 2月18日(水)	午前9:30～12:00	棚 原 公 民 館 棚原
	午後1:30～4:30	翁 長 公 民 館 翁長・坂田
平成10年 2月19日(木)	午前9:30～12:00	町役場二階大会議室 津花波・西原台団地・内間・ 県営内間団地・小橋川
	午後1:30～4:30	町役場二階大会議室 掛保久・嘉手苅・小那覇・ 県営西原団地
平成10年 2月20日(金)	午前9:30～12:00	兼 久 公 民 館 兼久
	午後1:30～4:30	平 園 公 民 館 平園
平成10年 2月23日(月)	午前9:30～12:00	与 那 城 公 民 館 与那城・西原ハイツ
	午後1:30～4:30	美 咲 公 民 館 美咲
平成10年 2月24日(火)	午前9:30～10:30	安 室 公 民 館 安室・桃原
	午前11:00～12:00	池 田 公 民 館 池田
	午後1:30～4:30	我 謝 公 民 館 我謝
平成10年 2月25日(水)	午前9:30～12:00	小波津団地自治会事務所 小波津団地
	午後1:30～4:30	小波津集落センター 小波津・呉屋
平成10年 2月26日(木)～ 3月6日(金)	午前9:00～12:00	税 務 課 窓 口 全行政区
	午後1:00～5:00	
平成10年 3月9日(月)～ 3月16日(月)	午前9:00～12:00	町役場二階大会議室 全行政区
	午後1:00～5:00	

※なお、2月16日～25日の間は税務課窓口でも申告書の受付はしますが、この日程表で指定された行政区の方は、その日は記載されている場所以外では受け付けませんので、できるだけ指定された行政区の日と場所で申告してください。

◎申告書の提出をしなくてもよい人

- ① 所得税の確定申告書を提出する人
- ② 収入が給与所得のみで、平成9年中に勤務先から給与支払報告書(源泉徴収票)が提出され、かつ、年末調整がなされている人(中途就職・退職は除く)

※申告書は、住民税に関する各種証明の基礎資料となりますので、たとえ収入が無い場合でも、必ず申告(「収入無し」で)するようにしてください。(国民健康保険加入者の方には保険税の軽減判定資料にもなります)

西原町役場 税務課 町・県民税係 ☎945-4729(内線142)

お知らせ
で
びる

案内・募集

2月

【西原町役場】

総 務 課 ☎945-5011
選挙管理委員会 //

文化広報課 ☎946-9846
福 祉 課 ☎945-5311
町 民 課 ☎945-5012
出 納 室 ☎945-5193
税 務 課 ☎945-4729
国民健康保険課 ☎945-4791
保健衛生課 ☎945-5013
企画財政課 ☎945-4533
議会事務局 ☎945-5005
土 木 課 ☎945-4415
都市計画課 ☎945-4496
区画整理課 ☎946-9050
産 業 課 ☎945-4540
農業委員会 ☎945-5281
水 道 課 ☎945-4934

【西原町教育委員会】

教育総務課 ☎945-3655
生涯学習課 //

学校教育課 //

教育相談室 ☎945-3656
町民体育館 ☎945-8095
町民陸上競技場 ☎944-1146
町中央公民館 ☎945-3657
☎945-9208
学校給食共同調理場 ☎945-4935
西原児童館 ☎945-4393
西原東児童館 ☎944-0976

高校生の交通事故多発!!

昨年の交通事故による高校生の死亡者は16人を数え、前年比で9人も増加しました。

年末年始の休暇期間中(平成9年12月27日～平成10年1月4日)の高校生に関連した交通事故の発生状況は、発生11件、死亡者3人、重傷者8人、軽傷者2人と多発傾向にあります。

高校生の交通事故の特徴は、交通三悪(暴走行為等の速度超過、無免許、飲酒)に起因する自爆型で、週末の深夜に事故が多く発生しております。

高校生の交通事故防止を図るためには、1 交通ルールと正しい交通マナーの遵守 2 深夜はいかしの防止 3 飲酒をさせない(高校生など青少年には酒類は販売しない) 4 夜型社会は是正等の取組みを一層強化していく必要があります。

つきましては、各家庭をはじめ町民各位、各層におかれましても、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

広報係から

いは番さだのもの年の年○
ま早号てに個のな年賀今
すくにお思性でり賀状年
。寛変きうつすの状がも
えわ、私て。個をあ
る二、何ふ性みりろ
よの月三だりがるまい
うでか十ろかとしろ
に、ら三うえて、たな
し自新歳! といや。方
よ分し。とててはそ々
うのいそ、'楽りれか
と所郵れい自しそぞら
思の便はま分いのれの

3月15日(日) 危険物取扱者試験

(10:00開始。願書受付期間:平成10年2月2日(月)～2月6日(金) 受験受付場所:消防試験研究センター沖縄県支部 問 ☎098-867-5332)

町民のみなさまへ

新年あけまして、おめでとうございます。

今年(平成10年)より、ごみの分け方が**5種類分別**に変わりました。それと同時に**黒いごみ袋や色のついた中の見えない袋は使えなくなりました。**

ごみの減量化、環境保全のためにこれからもご協力をお願いします。下記については、ごみの分け方、出し方の基本原則ですので必ず守ってください。

※ **古紙や布は、雨天時には収集しませんので次回の収集日に出してください。**(雨が降りそうな天気の時も、できるだけ次回に出して下さい。)

※ **古紙類は、種類ごと(新聞、チラシ類、ダンボール、雑誌、牛乳パック)に分けて十文字にしばって出してください。**

※ **缶やビンやペットボトルなどの資源ごみは、必ずふたを取り、軽く水ですすいでから別々の袋に入れ資源ごみの日に出してください。**(よごれたかんづめ缶やびんのふた、油などをふき取った新聞紙はもえるごみ・もえないごみとしてそれぞれ出してください。)

ゴミは必ず透明・半透明袋に入れて出してください!!

西原町役場保健衛生課

東部消防組合不祥事のお詫び

東部消防組合職員の給与問題については、平成9年3月末に職員から問題指摘を受け、事実関係を、内部で調査を進めておりましたところ、平成9年4月30日付の新聞に報道されて以来度々新聞紙上に上げられ、地域住民の皆様大変ご迷惑をおかけしております。

当消防組合は、さっそく、消防組合構成4町総務課長を中心とした給与制度検討委員会を平成9年5月26日に設置し、全職員の給与について、等級制に移行した昭和60年度より調査検討した結果、職員50人の給与に誤りがあり、特に新昇格制度の改善に伴う在職者調整時等におけるミスが多く見られ、上司の決裁なし辞令なしという初歩的、基本的な手続きがなされていない状況も散見される等の事実があることが判明しました。

当消防組合は、現在、誤りがあった職員の給与を是正すべく事務を進めているところであります。また、去る1月16日に発生した馬天港における水難事故の不祥事についても、4町の助役、総務課長で構成しております東部消防組合職員分限懲戒審査委員会の結果を踏まえ、今後は、二度とこのような不祥事がないよう、規則、規程にそった文書管理及び給与制度の適正な運用、救助体制の確立等、消防組合運営の改善を図り、住民の信頼回復に努めたいと思っております。

今回の不祥事で、東部消防組合構成町民に大変ご迷惑をおかけし、不信感を与えましたことを、ここに深くお詫び致します。

平成10年1月21日

町民各位

東部消防組合	管 理 者	南風原町長	金城 義夫
	副管理者	与那原町長	山内 俊光
	副管理者	佐敷町長	津波 元徳
	副管理者	西原町長	翁長 正貞

老齢基礎年金の繰り上げ受給を選択する前に

私達の老後生活の主柱である国民年金の平均受給月額額は年々増加し、平成七年の老齢年金平均額は四万四、七三三円となっています。そのうち新規裁定者の場合は五万三、一七〇円です。満額の老齢基礎年金は六万五、四八八円です。かなりの人が低い金額になっています。保険料を納めた月数が不足しているという理由もあるでしょうが、もう一つ理由があります。

老齢基礎年金の受給が始まる年齢は六十五歳です。しかし繰り上げ受給制度があり、希望者は六十歳から六十四歳までの間に繰り上げて受給することが出来ます。

ただ普通より早く年金を受けるのですから、年金を受給する年齢によって、それが早ければそれだけ年金額が減額されます。例えば、六十歳で受給を開始すれば、六十歳で受給する場合に比べて四二

%減額されます。

このため、繰り上げ受給を希望する人は年々減少しています。ちなみに、平成七年度に繰り上げて受給を開始する者は、新規受給者のうち三六・八%と、前年度より二・八ポイントも下がっています。平成三年度で五〇・八%であったのと比べても、年々減少してきたことがわかります。

老齢基礎年金は、繰り上げ受給を希望すると年金額が減額され、減額の割合は生涯変わることがありませんし、そのほかにも次のような注意すべきことがあります。したがって、繰り上げ受給を請求しようとする方は、これらの点を十分に考えてみてください。

▽繰上げ請求した後に障害を受けした場合でも障害基礎年金は受給できます。

国民年金は口座振替でネ



お問い合わせは

町役場国民健康保険課
国民年金係
☎九四五―四七九一
(内線一五三)

国民年金の高齢任意加入はできな

くなります。

▽第二号被保険者になったときには、

老齢基礎年金は支給停止となります。

▽遺族厚生年金または遺族共済年金

受給者が、老齢基礎年金の繰り上

げ請求をした場合、六十四歳まで

は支給が停止されます。

▽遺族厚生年金または遺族共済年金

受給者が、老齢基礎年金の繰り上

げ請求をした場合、六十四歳まで

は支給が停止されます。

▽遺族厚生年金または遺族共済年金

受給者が、老齢基礎年金の繰り上

げ請求をした場合、六十四歳まで

は支給が停止されます。

▽遺族厚生年金または遺族共済年金

受給者が、老齢基礎年金の繰り上

げ請求をした場合、六十四歳まで

は支給が停止されます。

西原町人材育成会

平成10年度高等学校・大学 (短大) 学資金貸費生募集

西原町人材育成会は、町の振興開発を担う有為な人材の育成を目的として、高等学校及び大学(短大)に在学する町出身の生徒に対して学資を貸与するため、平成10年度貸費生を募集しています。尚応募書類等は教育委員会内人材育成会事務局にて準備してあります。

1 貸費生の種類

県内・県外大学(短大も含む)、県内高校

2 募 集 人 員

各種とも若干名

3 貸与月額等

県外大学(短大) 30,000円

県内大学(短大) 20,000円

県内高校 10,000円

4 出願書類の受付期間

平成10年3月2日(月)～平成10年3月31日(火)までに本会必着のこと

(土・日・祝祭日をのぞく午前9時から午後5時

まで。但し、午後0時から午後1時までは昼食時

間のため受付できません。)

5 応募書類の提出先及び連絡先

〒903-0102 西原町字嘉手刈112番地

西原町人材育成会事務局

(町教育委員会内 ☎ 945-3655)

3月25日～4月1日 小学生のための国際交流事業『ちびっこ探検学校ヨロン島』参加者募集

問 (財)国際青少年研修協会 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-11 大村ビル3F ☎ 03-3359-8421

2月(FEB.)行事・祭事予定表

- 5日(木) ○3歳児健診(H6.10.9~H6.11.5生まれ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 6日(金) ○母親学級1(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 9日(月) ○町内特殊学級合同作品展(9:00~17:00(初日のみ14:00~17:00)、町中央公民館1階ロビー。~12日(木))
- 11日(水) ○建国記念の日(公休日)
- 13日(金) ○母親学級2(初妊婦、13:30、町中央公民館)
- 19日(木) ○1歳半健診(H8.7.14~H8.8.19生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 20日(金) ○西原町地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会実践研究発表会(15:15~17:00、坂田小学校/同校体育館)
○母親学級3(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 27日(金) ○母親学級4(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 28日(土) ○第5回カラオケ・もちつき大会(13:00~町社会福祉センター前広場→もちつき大会、14:00~町社会福祉センター内大広間→カラオケ大会)

3月(MAR.)行事・祭事予定表

- 7日(土) ○乳児一般健診(H9.10.12~H9.12.7生まれ、H9.5.12~H9.7.7生まれ、13:00~14:15、町中央公民館)
- 11日(水) ○ベビースクール1(3カ月~5カ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 12日(木) ○3歳児健診(H6.11.6~H6.12.12生まれ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 17日(火) ○ベビースクール2(3カ月~5カ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 19日(木) ○1歳半健診(H8.8.20~H8.9.19生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)

第5回カラオケ・もちつき大会
“カラオケ大会出場者募集”

- 日 時: 平成10年2月28日(土) 午後1時
場 所: 西原町社会福祉センター前広場
(午後1時) もちつき大会
西原町社会福祉センター大広間
(午後2時) カラオケ大会
- 申込対象者: 20歳以上の西原町民で性別問わず
但し、各行政区より1組(1曲)
グループでの参加可能
- 定 員: 30組
- 申込締切日: 平成10年2月17日(火)
- 共 催: 西原町社会福祉協議会、西原カラオケコスモス会、赤十字奉仕団
- 協力団体: サンライズ農業協同組合
- 内 容: カラオケを通して世代間の交流を図り生きがいと健康作りを目的にカラオケ大会を行います。尚、当日はカラオケ大会の前(午後1時)に赤十字奉仕団のもちつき大会も併せて開催します。
- ※ 入賞者へは賞品あり
- 問い合わせ: 町社会福祉協議会 ☎ 945-3651

戦没者等の遺族の皆様へ

平成7年4月1日において、遺族の中に公務扶助料、遺族年金等の受給権を有する者がいない場合に、戦没者の死亡当時に三親等内であった遺族の方に、特別弔慰金として、額面40万円、10年償還の国債が支給されます。

○受付期限: 請求の受付は平成10年3月31日まで。
※既に手続きが終わって国債を受けた方、手続きは終わったが国債をまだ受け取っていない方は不要です。

問い合わせ: 福祉課 ☎ 945-5311 (内121)

平成10年2月2日から

郵便番号が7ケタになります。

西原町の新郵便番号は次のとおりです。

沖縄郵政管理事務所

☎ 098-865-2252

ア 安 室 903-0113	コ 小橋川 903-0122
イ 池 田 903-0115	小波津 903-0118
ウ 上 原 903-0125	呉 屋 903-0124
内 間 903-0121	セ 千 原 903-0129
オ 翁 長 903-0117	タ 棚 原 903-0126
小那覇 903-0103	ツ 津花波 903-0123
カ 掛保久 903-0101	ト 桃 原 903-0114
我 謝 903-0112	徳佐田 903-0127
嘉手苅 903-0102	モ 森 川 903-0128
兼 久 903-0104	ヨ 与那城 903-0111
コ 幸 地 903-0116	

新郵便番号案内サービス実施中

フリーダイヤル 0120-857552

国の教育ローン 年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険及び国民年金に十年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低利で借りることができるとの制度です。

また、この貸付は、沖縄振興開発金融公庫の一般教育ローンとの併用もできます。

《融資金額》 学生・生徒一人につき

厚生年金保険加入中の方 百万円以内

国民年金加入中の方 五十万円以内

《融資利率》

年二・五〇% (平成九年十一月十日現在)

《返済期間》

八年以内 (据置期間は在学期間内で最長四年)

《お申し込み・お問い合わせ先》

(社) 沖縄県年金福祉協会

☎ 〇九八—八六六—六九五五